



発行
長崎県立島原工業
高等学校育友会
島原市本光寺町4353
(0957) 62-2768

「のりの里」とは、本校校歌の3番に「野鳥(のとり)の里の学舎は……」とあることに由来しています。野鳥をかわいがり、自然を大切にすることは意義のあることです。このようなことからこの会報の名前が決まっています。

前へ未来へ(まえへ)



育友会会長
山本 和樹

保護者の皆様には、日頃より育友会活動に、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今もなお新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、保護者の皆様におきましては不安な日々をお過ごしのことと思います。今年度、育友会会長を務めさせていただきましたが、感染症の影響で色々な学校行事が中止や延期となり思うような活動ができず心苦しく思いま

す。その反面、改めて今まで当たり前前にできていたことができなくなることが、日々の大切さを痛感させられた年でもあります。学校行事では、秋晴れのなかでの体育祭の開催となり多くの保護者の応援のもと東京五輪に負けないくらい盛り上がり子供たち一人一人が取り組む姿勢と各科対抗など一致団結したパフォーマンスに感動しました。私自身にとっても母校であり閉会式の校歌斉唱では学生時代を思い出し心に響きました。また、三年に一度の工業展も人数制限などの感染症対策を講じながら開催となりました。工業高校ならではの各科特色がある作品などが展示されており先生方のサポートの中、生徒達が準備など一生懸命に取り組むよい思い出になったと思います。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

最後の最後まで延期が中止が時間を検討してきた修学旅行もどうにか生徒達が体調不良や怪我もなく無事終えることができました。保護者の皆様におきましては帰ってくるまで心配されたことと思いますが、今となっては生徒達にとって高校生活の思い出が一つ増えたことをうれしく思います。これからそれぞれが新しい道に進みます。これからいろいろな人との新たな出会いもあり、困難に立ち向かうこともあるでしょう。島工で学んだことに誇りを持ち、感謝を忘れず前へ未来へ(まえへ)と進んで行ってください。更なる活躍を期待しています。先生方、育友会の皆様には一年間、ご尽力をいただき感謝しております。今後も島原工業の更なる発展と一日でも早く新型コロナウイルスが終息し学校生活が充実することを願いつつ、お礼の言葉とさせていただきます。

一年を振り返って



母の会会長
進藤 里美

保護者の皆様には、日頃より育友会ならびに母の会の活動にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。昨年度に引き続き母の会の役員更今年度は母の会の会長という重責を担う立場となりました。新型コロナウイルス感染症拡大もあり、不安に思いながらのスタートとなりましたが前会長の松井さんをはじめ、母の会役員、保護者の皆様のお力を頂きながら、無事一年を迎えることができる事に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

動も縮小された一年となりました。保護者の方とも会う機会も減り、情報交換などほとんど出来ないうまま、一年が過ぎてしまい、とても残念に思っております。今年度の母の会の行事と致しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、(母の会)活動のほとんどが実施できずに終わってしまいました。例年九月には、三年生の就職希望者に対しての面接指導へ参加しておりますが、中止となりました。十一月の工業展も、例年母の会などでバザーを実施されており、昨年、コロナの影響で出来なかったのが、今年こそは出来るかな?と思っておりましたが、食物バザーの実施が出来ないとの事で、残念ながら中止となりました。十一月二十二日のマラソン大会での母の会からのペトポトルの配布も、マラソン大会が雨で中止となりこれも残念ながら実施する事が出来ませんでした。一年間の母の会の活動が、何も実施が出来ないまま終わってしまった一年となり、非常に残念に思っております。今年も全国的に流行した新型コロナウイルス感

染症は、未だ終息がつかない状況です。昨年に続き、「当たり前前に出来ていた事が出来なくなり、出来た時のありがたさ」学校行事も厳しい状況の中で、様々な制限があり安全対策をした上で開催して下さった、校長先生をはじめ、先生方に大変感謝しております。育友会、母の会の皆様、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、皆様と活動する事もできず一年が終了してしまいました。コロナの終息を願ひ笑顔のあふれる日々が送れますようにと思っております。何も出来ないまま終了となりましたが、一年間お世話になりました。ありがとうございます。三年生の皆さん、卒業おめでとうござります。島原工業卒を誇りに、更なる向上を期待しています。今後の益々のご成長とご活躍をお祈りいたします。校長先生をはじめ諸先生方、育友会、母の会役員、保護者の皆様方には、御支援、御協力を頂きましたことに厚く御礼申し上げます。



ジュニアマイスター顕彰制度とは、工業高校の生徒が資格・検定の合格を通して身につけた知識・技術・技能を積極的に評価しようというものです。取得した資格や競技会の成績などに点数をつけ、その合格点により、「(社)全国工業高等学校長会」が表彰する制度です。ジュニアマイスター顕彰にかかわる区分表による得点の合計が、45点以上であれば「ジュニアマイスターゴールド」の称号が、30点以上であれば「ジュニアマイスターシルバー」の称号が、20点以上であれば「ジュニアマイスターブロンズ」の称号が授与されます。なお、60点以上または特に優れた成果を有すると認められた場合には「特別表彰」となります。

※1人の生徒が、1年間のうちに「ブロンズ」「シルバー」を同時に受賞しているなどの場合もありますが、今回はより上位の表彰のみ掲載しております。

Table with award categories: 特別表彰 (6名), ゴールド (6名). Lists names of students and their departments.

Table with award category: シルバー (32名). Lists names of students and their departments.

Table with award category: ブロンズ (13名). Lists names of students and their departments.

Table with award category: ブロンズ (13名). Lists names of students and their departments.